

From LIBRARY 扶桑町図書館 ☎ (93)8630 開館時間 午前 10 時～午後 6 時

目からウロコの科学をたのしむ本



「水平線まで距離は
何キロか？」
～文系でも楽しめる～
「およそ数学」の世界～
沢田功／著

「飛行機雲の長さは？」「光の明るさって何？」「なぜ地球の重さがわかる？」など、文系・大人のために数学・物理の面白さを教える再入門書。「およそ」で充分！数学的思考法で身近な世界が面白くなる。

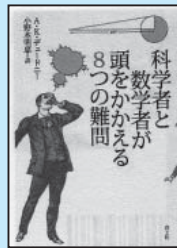
著者は1966年大阪府生まれ。名古屋大学大学院を修了。現在、石川工業高等専門学校准教授。専門は物性理論と統計物理。



「知るほどハマル！」
科学の不思議
～見る目が変わる～
身近な世界～
吉村忠与志／著

ダイヤモンドが硬いのはどうしてだろう。腐るって、どんなことが起きているのだろう。空気は凍るのだろうか。気がつけば、暮らしの中には不思議なものだらけ。さあ、化学の宝石箱を開けてみよう！

著者は1949年福井市生まれ。福井大学大学院を修了。現在、福井工業高等専門学校の教授として勤務。



「科学者と数学者が頭をかかえる8つの難問」
A・K・テュードニー／著

なぜ光の速度を超えられないのか？なぜ円と同じ面積の正方形をつくれぬのか？数学者、科学者を悩ませる8つの難問の成り立ちや、それらに挑んだ科学者、数学者たちの歴史などを、ユニークな図版を交えて解説する。

著者は、数学者、環境科学者、コラムニスト。ウエスタン・オンタリオ大学のコンピュータ・サイエンスの教授などを歴任。著書に「数学の不思議な旅」や「眠れぬ夜のグーグル」などがある。

4月の催しもの

とき		催しもの
6日(日)	11:00～14:00	子どもビデオ劇場
20日(日)	11:00～14:00	絵本とあそぼう
27日(日)	11:00～15:00	子ども科学教室
毎週木曜日	10:00～12:30	あかちゃんクラブ ラッコルーム
毎週土曜日	14:00～	「おはなし」と 「あそび」の広場

その他のおすすめの科学の本

- ◆「隕石コレクター
～鉱物学、岩石学、天文学が解き明かす
『宇宙からの石』～」リチャード・ノートン／著
- ◆「Q&Aで学ぶやさしい微生物学」
浜本哲郎／著
- ◆「生きものの流儀」
日高敏隆／著
- ◆「数学 こんな授業を受けたかった」
岡部恒治／著
- ◆「自分の体で実験したい命がけの科学者列伝」
レスリー・デンディ／著
- ◆「大気の世界 なぜ風は吹き、生命が地球に満ちたのか」
ガブリエル・ウォーカー／著

俳句

「初桜」

ふそう俳句会

庵主の忌日当る門の初桜
四間通に母の生家や京の雛
釈迦牟尼を心に東風のぬくきかな

浅野 幸子
浅野 ひろし
会田 宗和

川柳

扶桑川柳クラブ

役決め文句言えないあみだくじ
激動の昭和も生きたこまねずみ
読書から親が教えぬ恋学び

立木 昌子
山田志げ子
飯田 重樹

短歌

「春雨」

ふそう短歌会

幼き日甘茶そそぎし花まつり
地うるおして春の雨降る
水牛に引かれつつ行く島道
若者の唄う安里屋ユンタ
饒舌の止みし静寂に電線を
揺らし雀ら一斉に翔つ

松井みつ子
村雲たみえ
後藤 一枝

詩吟

「桜祠に遊ぶ」 広瀬旭荘

花開けば万人集り
花尽くれば一人無し
但見る双黄鳥
緑陰深き処に呼ぶを

「意」 花が開いて大勢の人が集まるが、花が散ってしまつと誰一人やつてこない。ただ、二羽のうぐいすだけが緑の木陰で互いによびかわし鳴いていた。

正風流一代目 山内 正風

「お詫言と訂正」 3月号の作者の名前に誤りがありましたのでお詫言し、訂正いたします。正：「生田に宿す」曹茶山